

業績アップ情報を本会員様に向けて限定配信!!

無断での転載は  
お断り申し上げます。

号外版

データ **COMPASS** 2015/11/16  
コンパス 第18号GLOBAL  
Amusementグローバルアミューズメント株式会社 TEL 0120-519-113  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-12-2 クロスオフィス渋谷8F FAX 03-6805-1029

## パチンコ部門 今後の入替についての考察

グローバルアミューズメント株式会社  
代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。  
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。  
2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の  
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして突出した  
存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に特化した、  
コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。  
現在、ホール&メーカーの双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。



皆様、こんにちは。グローバルアミューズメント株式会社 代表取締役 青山真将樹です。

本日の号外では、先週から最も多い質問。「パチンコ部門の入替は今後、どうすれば  
よいか?」という点について、現段階でアドバイスさせて頂いている内容について記事を  
ご提供させて頂きます。よろしくお願ひ申し上げます。

### ■イメージ・雰囲気だけで判断してはダメ!!

### 自店への影響を適切に試算することが“最初の一步”

まず、ご相談を頂いた会員様に最初にご質問するのは「自店にとって、実際にどのような  
影響になるか試算されましたか?」という点です。詳細が確定してから動いた方が良いと  
いう考え方は100%正解であると思いますが、曖昧なイメージだけで不安を抱えた状態です  
と、足元の判断を迷わせてしまうと思います。例えば、「パチスロを増台すれば良い」と考え  
ていらっしゃる方もいますが、客数の増減幅が大きいパチスロ部門の増台は、収益性の  
安定感を考えますと、結構リスクの大きい場合もあります。「パチンコ部門のほとんどの機械を  
入れ替えるかも」と聞くと、莫大な費用がかかってしまうイメージ → 脳内ストレス満杯という  
状態になり、逃げ思考、悲観思考になりがちだと思います。情報が不確かな状況では、  
ありますが、実際にどの程度の入替費用負担増になるかを試算してみると、イメージだけで  
考えるよりは、かなり対応の仕方が見えてくると思います。現段階で最も重要なアクションは、

経営陣と現場が適切に議論ができる“準備”を進めることですので、以下を参考に来年のパ  
チンコ部門投資イメージと対応方法を自社・自店でも描いてみてください。

### ■計画性を持って対応すれば、まだまだやれる店が多いと思います。

パチンコ部門の対応としては、以下のいずれかに属するとなるお店が多いと考えています。

**【ケース1】強い店に多いパターン→4円回転率 1.3回転以上、低玉比率30%以内**  
1番店、強い2番店には多いケースですが、上記のようなケースである場合、パチンコ部門  
全体の機械回転率は1回転/年前後となりますので、パチンコ部門の機械を総入替したと  
しても、それだけではイメージほどは機械代増はありません。「新たな定番稼働機を作る努力  
と費用」、「雰囲気は煽られ無計画な機械投資をしない」等の想定しておけば、イメージよりは、  
かなり影響が少ないお店も多いと思います。逆に、他店のパチンコ部門が明らかに停滞しそ  
うであれば、機械回転率を2割くらい増やして攻めに出る戦略も十分に検討できると思います。

### 【ケース2】中堅店に多いパターン→4円回転率 1回転程度、低玉比率40%前後

普通の2番店、3番店に多いパターンだと思います。パチンコ部門全体での回転率は  
0.6回転~0.7回転になりますので、機械代の単価を下げないと、パチンコ部門全体を回転  
させることはできません。このようなお店は、これを契機に機械代が易い“甘デジ”と“リユース  
対応があるミドル”を主軸としたお店づくりをしていくと、1番店とは違ったカラーで”強い店づ  
くり”を目指せると思います。やみくもに稼働を重視するのではなく、投資・収益のバランスを  
考え、必要な稼働を確保することを目指して計画を遂行していけば、2016年を契機に  
今迄以上に安定感のある店づくりもできると思います。最も店長力が発揮される店格ですね。

### 【ケース3】1円主体の店→4円回転率 1回転程度、低玉比率60%以上

最も機械投資増の程度が大きく、先行きが見えないのが1円が3分の2以上を占める店  
です。このようなお店は機械代に見合った業態変更に着手しないと来年は対応できません。  
パチスロが強ければパチスロ増台も一手ですが、機械代が安価な甘デジを中心に、2円を  
トップレンジとした2円・1円・0.5円等の店舗モデルにチャレンジすることもご一考ください。  
いずれにせよ1円主体の店の多くは、業態変更を求められる時期でしたので、既存機に下取り  
等がつくことを追い風と捉えればヤル気がでると思います。  
いかがでしょうか? 少しイメージが湧きましたか? ぜひ、本日の記事を参考に、来年以降  
の検討を深めてください。本日も、最後までお読み頂きありがとうございました。

**開催直前!! 時流預言セミナー2016は11月25日東京,26日大阪で開催!! お申込みは弊社HPから!!**